

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年03月09日

計画の名称	安全・安心のまち 刈谷の下水道（防災・安全）											
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	刈谷市											
計画の目標	持続可能な下水道サービスを提供し、安全・安心の町を創造する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,220	A	1,220	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	吹戸川第19排水区における吹戸川第19-3号、第19-4号雨水幹線整備による10年確率降雨に対する浸水対策（宅地被害解消）の進捗率の増加【0.0%（H25末） 100.0%（H30末）】 吹戸川第19排水区における吹戸川第19-3号、第19-4号雨水幹線による浸水対策の進捗率（%）= 雨水幹線の整備延長（m）/ 雨水幹線の事業総延長（m）× 100	0%	100%	100%
2	吹戸川第15排水区における雨水地下貯留施設整備による10年確率降雨に対する浸水対策（宅地被害解消）の進捗率の増加【0.0%（H25末） 100.0%（H30末）】 吹戸川第15排水区における雨水地下貯留施設による浸水対策の進捗率（%）= 整備済み貯留量（m3）/ 計画貯留量（m3）× 100	0%	100%	100%
3	中部処理分区における老朽管対策実施率を10.0%（H25末）から14.1%（H30末）に増加させる。 中部処理分区における老朽管対策の実施率（%）= 改築実施済延長（m）/ 改築対象延長（m）× 100	10%	12%	14%
4	中部処理分区における耐震対策実施率を0.0%（H25末）から100.0%（H30末）に増加させる。 中部処理分区における耐震対策の実施率（%）= 耐震化実施済箇所（基）/ 耐震化対象箇所（基）× 100	0%	47%	100%
5	ストックマネジメント計画策定の進捗率を0.0%（H25末）から50.0%（H30末）に増加させる。 ストックマネジメント計画策定の進捗率（%）	0%	0%	50%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠(雨水)	新設	吹戸川第19排水区(浸水対策)	雨水管 =900~1,200mm L=378m	刈谷市						250	-	
	A07-002	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠(雨水)	新設	吹戸川第15排水区(浸水対策)	雨水地下貯留施設 V=4,600m ³	刈谷市						550	-	
	A07-003	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠(合流)	改築	中部処理分区(改築)	老朽管改築	刈谷市						283	策定済	
	長寿命化計画																		
	A07-004	下水道	一般	刈谷市	間接	民間	-	-	雨水貯留施設助成	雨水貯留施設助成(65基/年間)	刈谷市						17	-	
	新世代下水道支援事業制度事業計画																		
	A07-005	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠(合流)	改築	中部処理分区(地震対策)	人孔浮上防止	刈谷市						86	-	
	下水道総合地震対策計画																		
	A07-006	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠(汚水)	改築	下水道ストックマネジメント計画策定	下水道ストックマネジメント計画策定	刈谷市						34	未策定	
小計																1,220			

A 基幹事業																															
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況												
												H26	H27	H28	H29	H30															
		一体的に実施することにより期待される効果																													
		備考																													
																		合計										1,220			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 刈谷市水資源部において実施	事後評価の実施時期 事業終了後、令和2年3月実施
	公表の方法 刈谷市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・吹戸川第19排水区において、吹戸川第19-3号、第19-4号雨水幹線の整備により、都市浸水対策達成率の向上が図られた。 ・吹戸川第15排水区において、雨水地下貯留施設の整備により、都市浸水対策達成率の向上が図られた。 ・下水道施設の長寿命化を実施し、安定した下水道サービスの維持が図られた。 ・下水道施設の耐震化を実施し、災害時における機能確保が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>対策工法の検討を行い、施工可能な工法にて工事を実施する。 引き続き、下水道施設の長寿命化や耐震化を推進し、安全・安心の町を創造する。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	公共下水道による浸水対策の進捗率	
	最終目標値	100%
2	公共下水道による浸水対策の進捗率	
	最終実績値	100%
3	下水道施設における老朽管対策実施率	
	最終目標値	14%
4	主要な下水道施設の耐震対策実施率	
	最終目標値	100%
5	埋設等の障害物により施工が不可能な人孔が判明し、対策工法の再検討に時間を要したため	
	最終実績値	61%
5	ストックマネジメント計画策定の進捗率	
	最終目標値	50%
5		
	最終実績値	50%